

ホームページ公表用 事業所における自己評価総括表

○事業所名	どろんこコース			
○保護者評価実施期間	令和7年11月19日		～	令和7年11月29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44	(回答者数)	31
○従業者評価実施期間	令和7年11月10日		～	令和7年11月19日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>【発達支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日々の活動プログラムをチームで考えて行っている。 体を動かすプログラムが豊富なこと。 個々の特性に合わせた支援を行っていること。 定期的に体育館を借りて専用利用し、思い切り身体を動かせる環境を作っている。 指導者ライセンスの資格を取得し、より良い療育を目指している。 地下鉄やJRなどの公共交通機関を利用しマナーを学ぶ機会を設けている。 畑活動や調理活動、工場見学などを通して食育に取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 体を思い切り動かしてもらい、ストレスや体力の発散に繋げ心身の安定を図っている。 自分の意見を押し通すのではなく、他の人の意見も聞くことができるように環境設定を行っている。 定期的にアンケートを取り、子どもたちが希望する活動を聞いて取り入れている。 家庭では中々連れていけない活動なども企画し、体験や経験を増やせるようにしている。 今年度は市民農園を借りたことで地域の人との交流を図ることができた。 公共利用時にマナーやルールを伝えることで卒後に向けた社会性を養えるように支援している。 	<ul style="list-style-type: none"> 普通の中高生が楽しんでいる活動も体験してもらいたいので、流行などにもアンテナを張って企画を考える。 子どもがワクワクするような、ニーズに合わせた活動の提供。 サッカーやバスケ、野球などで地域のチームとの交流戦などを行ってみたい。 畑で収穫した野菜を販売するなど、接客体験や金銭授受の体験を通して就労に向けて意識を高目られるような活動を増やす。
2	<p>【家族支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 送迎時や連絡ノートにて情報共有し、面談にて日々の困りごとなどを聞く機会を設けている。 親も参加できる行事を通して普段の子どもたちの活動を見てもらう機会を提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> 年に3回の賛助会向けの会報や、月に一回のお便りの発行、インスタでの情報発信を行っている。 送迎時にはお子様の状況を保護者に伝え、現在の発達の状況や課題や習得状況について伝えている。 活動場所の開示をしているのでいつでも保護者が参加観覧できるようになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族支援プログラムの経験が浅い為、研修などを受ける機会を作る。 相談ごとを受けた際に、職員のみならず、同じ悩みを持つ保護者様との共有機会や、先輩保護者様の経験談を聞けるような環境を作ること。
3	<p>【地域連携・移行支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域のゴミ拾いを行っている。 町内会へ駐車場を貸し、お祭りが開催される。 児童会館の催しに参加する。 市民農園にて畑活動を行っている。次年度も別の場所にはなるが市民農園にて活動予定。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のゴミ拾いの際、事業所名の入ったピブスを着用し、事業所のことを地域に知ってもらうようにしている。 地域事業所やイベントを見学している。 地域の一員として参加していると言う経験を通して社会参加の幅が広がるよう活動している。 畑作業では個々に合わせた得意な作業を任せ、自信に繋がる役割づくりを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 更に他事業所との交流を深め、横の繋がりを増やすこと。 地域のイベントに参加して地域との交流を増やしていくこと。 畑の収穫物の販売を視野に入れて活動を予定すること。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>【発達支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発達段階に差がある為、全ての子どもが満足する活動が難しいこと。 体を動かす活動がメインになり、運動を苦手とする子が参加しにくいこと。 室内活動が少ない為、製作などが少ないこと。 マンツーマンでの対応が難しく、話を聞いてほしい子どもがいてもじっくり聞いてあげられない。 	<ul style="list-style-type: none"> スタッフの人数が限られているため全ての子のニーズに応えることができず、一部の子どもが楽しめていない。 活動内容が男の子が楽しいと思う活動に偏りがち。 発達や運動量にバラつきがあるため活動への取り組みに差が生じやすい。 体を動かす活動を好み、室内活動に誘っても参加が安定しない。 	<ul style="list-style-type: none"> 苦手なスポーツでも、できるところだけ参加してもらい少しずつ苦手意識を減らせるようにする。 今後も新しい活動を企画し利用者の活動の幅を広げ、可能性を高めていけるようにすること。 結果として活動が少ない。 プレイルームにはテーブルや椅子を常設しておらず、制作の準備や片づけに時間がかかり、じっくり取り組める環境が整っていない。
2	<p>【家族支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> ペアトレーニングなどの知識が薄く適切なアドバイスができていないこと。 保護者交流の機会が少ないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> 親子行事を企画しても、年頃ゆえ親の参加を拒む年代の子が多く集まらない。 ペアレントトレーニングなど、研修を受ける気持ちはあるが業務が多忙でなかなか機会がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 参加意欲がわくような親子行事を企画する。 卒後の心配事も多い為、先輩保護者の体験談などを聞ける機会を設ける。
3	<p>【地域連携・移行支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域のゴミ拾いなどは行っているが、地域住民との交流が少ない。 町内会へ駐車場を貸し、お祭りが開催されたが事業所としては参加に至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域のゴミ拾いを行っているが、事業所の認識には至っていない 地域児童発達センター主催の地域事業所参加型の催しがあるが、参加に至っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 他事業所との交流を深め、横の繋がりを増やすこと。 地域児童発達センター主催パラスポーツに参加し、北区事業の交流を図りたい。

ホームページ公表用 事業所における自己評価結果

事業所名		どろんこコース		公表日		令和8年1月	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	●		プレイルームは適切な広さであり、室内ではあるが卓球やバドミントン、バスケのシュート練習等の運動ができるベースとなっている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	●		配置数以上配置できている		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	●		入り口はバリアフリーになっており、プレイルームへのスロープもある。	構造化という面では改善の余地があると思う	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	●		毎日清掃を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	●		個室はあるため、落ち着ける場所の提供は可能。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	●		原案会議は全体で進めている。支援計画カレンダーや会議にて個別支援計画の更新月の確認を行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	●		集計後、事業所全体で確認し改善に向けて話し合っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	●		年2回の面談を含め、定期的に上司から声がかかる。月1回の会議や朝礼などで取り上げてもらっている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	●		相談事業所(むうさん)の地域巡回で評価をいただき指導を受けている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	●		職員のスキルアップや資格取得のための研修には積極的に参加させてもらっている。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	●		ホームページ及び、相談室、玄関に貼りだしているのewithいつでも閲覧可能。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	●		現場での情報収集、朝礼での情報共有をしながら計画に沿ってアセスメントを行えている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	●		原案会議を含め、職員全体で支援が統一できるようPDCAサイクルですすめられている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	●		原案会議で共有しており、評価の際にも話し合う機会を設けている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	●		氷山シート等、統一されたシートの活用を行っている。		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	●		計画に設定されている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	●		その日に利用者に合わせて立案、行事は担当者が作成しているが全体で確認している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	●		マンネリ化しないよう新たな活動にも挑戦している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	●		集団、小集団、個別で子どもに合わせた対応を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	●		朝礼、昼礼で確認している	十分な時間は取れていない
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	●		送り後の直帰があるため、当日は共有ツールにて情報共有し、翌日の朝礼で再度振り返り、情報共有している。	その日のうちに振り返ることはできていない
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	●		日誌・業務日誌・経過記録に記載し次の日の朝礼で話し合っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	●		定期的に行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	●		今年度は地域参加が充実できた。市民農園、販売。児童館でのお祭り参加、定期的にボラさんが来る。地域のダンス観覧。2月には地域でのお祭りに参加予定(紙ランタン)	
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	●		特に高校生は、社会人を意識した行動が取れるような関わりをしている。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	●		児発管や、その子をよく知る職員が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	●		医療センター主催の会議にも参加している。	更に連携を深める必要がある
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	●		学校側の計画も送られてきており共有することができている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	●		中高生のため就学前の機関に問い合わせしていないが、法人内の未就学児クラスに在籍していた子の場合は情報共有している。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	●		情報提供している。	積極的な連携を行いたい
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	●		連携して必要に応じてスーパーバイズや助言を受けている。	機会を増やしていきたい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	●		今年は百合が原児童会館のお祭りに参加させてもらった。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	●		できる限り参加するようにしている。	積極的に参加するようにしたい
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	●		家庭との連絡ノートや送迎時の対面で情報共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	●		研修については月に一度お便りでお伝えしている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	●			

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	●			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	●			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	●		難しい相談には全職員の意見などを聞き助言している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	●		家族参加の行事を年に2回開いている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	●		苦情類については迅速に情報共有し、解決している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	●		毎月のお便りや会報などに加え、個人情報に留意しながらInstagramも定期的に投稿し、日々の活動について発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	●			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	●			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	●		事業所で町内会主催のバーベキュー大会を行った。	事業所主催でイベントを実施したい
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	●		それぞれに委員会を設置し、定期的に会議が開かれている。火災、地震、避難訓練も毎年実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	●		BCPについて振り返る時間を設け、全体研修でも取り上げている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	●			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	●		アレルギー表を作成し、更新している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	●			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	●			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	●		事業所内で検討した後に委員会でも更に話し合っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	●		年に一度虐待防止委員会主催で研修を行っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	●		拘束については日々意識しながら関わっている		

ホームページ公表用 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		どろんこコース		公表日		令和8年1月	
				利用児童数		44	
				回収数		31	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	30			1	・室内で活動することは少ないですが、ちょっとした体を動かす活動するには十分なスペースがあります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	27	2		2	・職員の配置数は多いですが、下校時間が重なり送迎が難しい日があるのが現状です。今後調整して少しでも利用日数を増やせるよう配慮します。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	28	1		2	・1階はバリアフリーになっており、トイレなどには見てわかるようにイラストを用いています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	29			2	・毎朝スタッフが清掃を行っております。また、個室もありますので、集団活動が難しくなった時には退避できるようになってます。
適切 な 支 援 の 提 供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	30			1	・今年度は強度行動障害の研修を受講しました。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	31				
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	31				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	30			1	・計画作成時に説明させていただいていますが理解を得られなかったようです。今後は詳しく説明させていただきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	29	2			・いろいろな行事があり楽しく参加しています。 ・いつも楽しそうな活動内容で本人満足しています。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	13	3	2	13	・特にそのような機会がなくても問題ないと思います。
保 護 者 へ の	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	31				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	31				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	29			2	・今後もお便りに近々開催される研修会等をお知らせしてまいります。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	31				・送迎時、または連絡ノートやメールで共有しており、少しでも変わった様子があればお伝えするようにしています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	29	2			・送迎時にお話しすることはありますが、改めてお約束しての定期的な面談はしていませんので、希望者はできる機会などがあると利用者さんは嬉しいと思います。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	31				・面談や茶話会の開催などの内容を詳しく説明させていただきます。定期的な面談の他に相談などがございましたら、お気軽にいつでもご連絡ください。今後は面談などの機会を増やし、家庭に寄り添った支援を行ってまいります。

説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	25	2		4	・年に2回親子行事を企画しており、兄弟の方にも参加していただいております。年頃ゆえ親との参加を拒む子どももおりますが、今後も継続して行いたいと思っております。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	31				
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	30			1	・家庭との電話や対面の場合には、子どもに配慮した時間帯や場所を設定しております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	29	1		1	・個人情報の事があるからか、どろんこだよりの写真が見づらいのが残念です。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思えますか。	28	1		2	・個人情報が入った書類を破棄する場合は、必ずシュレッダーにかけています。また、SNSで画像を発信する際にも本人と特定できないよう工夫しています。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	27	1		3	・すべてのマニュアルを作成しております。訓練を行った時には連絡ノートに記載し、お便りなどにも記載しております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	30	1			・年2回開催しております。開催日が限られているため、全ての契約児童が参加できていないのが現状です。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	30			1	・契約時に災害時対応の流れを説明させていただいています。振り返りも兼ねて、再周知する機会を設けたいと思います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	31				・契約時に説明しておりますが、こちらも再周知する機会を設けたいと思います。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	31				・楽しみにしています。カレンダーを見て自分の参加したい行事に〇を付けています。 ・とても楽しく通所していて、上手にできたことを嬉しそうに教えてくれるようになりました。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	31				・家が遠いので利用回数が少ない。 ・なかなか経験できない行事もあり満足しています。ありがとうございます。 ・楽しく通えています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	31				・貴重なご意見をありがとうございます。お答えいただいた意見をスタッフ間で協議させていただき、より良い支援に向けて精進してまいります。今後ともよろしく願っています。